

	<p>桔梗が丘自治連合協議会 平成24年度</p> <p style="text-align: center;"><b>第11回理事会議事録</b></p>
場 所	桔梗が丘公民館・202号室
日 時	平成25年3月23日(土) 11:00~12:35
出 席 者	出席者・辻森、大垣、上田、河合、武仲、東、阪本、野邊、高槻、竹原吉野、加納、梅本、中村、山中、松村、田合監事、福森監事、森田地域担当監 欠席者・廣岡、
議 事 決議事項 1. 議事録署名人	<p>大垣副会長(総務委員長)が司会を務め会議が始まった。 辻森会長離席のため上田副会長の開会のあいさつの要旨 「本日は、前半で大変重い説明会となり、お疲れのことと思いますのでスムーズな会議となるようご協力下さい」。</p> <p>辻森会長着席。辻森会長議長となり審議が始まった。 自治連合協議会規約第46条第2項の規定により、議事録署名人中村満氏、松村勲氏を選任し承認された。</p>
2. 平成24年度協議会会計の予算補正について	<p>山中事務局長から、平成24年度協議会会計の予算について別添え資料に基づき次のような提案説明があった。 「平成25年2月23日開催の定例理事会において承認されました、民生児童委員からの預かり金417,385円を雑収入に計上、同額を「有事助け合い基金」として支出計上いたします」。 議長は出席者の意見をもとめたが異議無く、予算補正は提案どおり承認された。</p>
3. 平成25年度自治連合協議会事業計画(案)について	<p>&lt;総務委員会&gt; 大垣副会長(総務委員長)から、平成25年度の事業計画(案)について別添え資料に基づき概ね次のように説明があった。 「平成25年度の総務委員会の事業計画はほぼ例年通りの内容ですが、委員会で検討した結果、2項目を「規約、規則、規定等の制定または改正により、協議会運営の充実化と円滑化を図り今後の協議会のあるべき方向性や問題点を検討する」とし、今後ますます難しくなるであろう協議会の在り方(法人化等)の検討を進めたい。地域ビジョン実現に向けての講演会を2回実施予定です。現地研修会は、これまではまちづくりの先進地訪問や、地域ビジョンを実現するための目的で行ってきましたが、25年度は他地域との交流を深める研修会としたい。そこで以</p>

前に当地域を訪れた碧南市や東近江市を候補地とし、お互いの交流を深めるのと、学ぶべき点は学んで行きたいと思っています。

予算額では費用弁償費を地域ビジョン関係の会議を見据え増額しましたが、その他の項目は前年どおりです。以上が総務委員会の事業計画です」。

#### <企画運営委員会>

阪本企画運営委員長から、平成25年度の事業計画(案)について別添え資料に基づき概ね次のように説明があった。

「平成25年度の事業計画は5項目で昨年と大きな変更はありません。1. 地域ビジョンの推進、2. コミュニティビジネスの検討、3. 事業部会に対する新規事業の提案、4. 事業部会に対する支援、5. 事業部会の事業評価システムの検討です。

新年度も地域ビジョンの推進に殆どのエネルギーを費やすことに変わりはありません。まず平成25年度は「ふれあい茶房」「子どもと地域の絆づくり」の2事業が、それぞれのチームで本格的に事業活動を始めます。「ふれあい茶房」「子どもと地域の絆づくり」の事業予算は、名張市から昨年9月「ゆめづくり協働事業」として認められた交付金を元に暫定予算として、資料記載のように計上いたします。

「次に、地域ビジョンに掲げられた「地域環境ネットプロジェクト」及び「ききょう農楽園」は事業開始に向けて検討を始める予定です。内容はメンバー・サポーターの募集、(5月に募集開始予定)、引き続き説明会の実施をします。これに関する費用を予算化しています。地域ビジョンの事業の中で特に早く立ち上げて欲しいとの希望のある、「何でも屋お助けセンター」の設置事業を早めに検討を始めたいと考えています。予算合計額は30万円となっています」。

#### <広報委員会>

野邊広報委員長から、平成25年度の事業計画(案)について別添え資料に基づき概ね次のように説明があった。

「事業の内容は平成24年度と大きく変更はありませんが、個々の活動について、広報委員会の負うべき役割を再度検証しながら、地域住民の皆さんのご期待に沿えるように広報活動を進めていきます。内容はききょう通信の発行、ホームページの適切な運営に努めていきます。

ききょう通信の発行は、地域の皆さんが何を求めているのか、発信すべき情報は何かを見極めながら編集に努めていきます。ホームページは更新作業が外部委託から、広報委員会内で更新が出来るようになり、タイムリーな情報の発信が可能となり、その結果アクセス数も増加しています。

今後も更にきめ細かい更新に努めていきます。

平成25年度は予算額として32万円を計上しました。昨年度比6万5千円の減になっています。今後、さらに個々の事業推進にあたって、地域の皆さんのご要望を伺いながら進めていきたいと考えています。以上が広報運営委員会の事業計画です」。

引き続き議長は以上の提案について意見を求めた。

山中事務局長から、ゆめづくり協働事業の2事業の会計は特別会計としたいと提案があった。

その他に意見は無く、採決した結果全員挙手し、3委員会の事業計画(案)及びゆめづくり協働事業の会計は特別会計とすることが承認された。

#### <健康推進部会>

高槻健康推進部会長欠席のため山中事務局長から、平成25年度の事業計画(案)について別添え資料に基づき概ね次のように説明があった

「平成25年度は、例年とほぼ同様の事業を計画しています。1. 老人の日の行事は例年通り70歳と88歳の方に長寿記念品を贈呈、70歳以上の方にお祝い品を配布します。予算額は170万円。2. 健康まつりもほぼ例年通りの内容ですが、実施日はウォーキングと健康まつりをそれぞれ別の日になります。健康まつりの「健康度測定」がセントラルフィットネスクラブの撤退により実施できなくなったので、健康体操を取り入れることにしました。予算額は25万円。3. ニュースポーツ世代間交流大会を平成26年3月29日(土)実施します。内容は記載のとおり平成24年度と同様です。予算額は5万円。4. 体操会の協働事業も地域住民の健康維持ため引き続き実施します。予算額は3万円です。夏休みの参加児童への参加賞費用です。5. ききょう健康講座として次の5つの事業を実施します。(1) ベルフラワー教室、(2) 楽しい健康づくり講座、(3) 健康体操(リズム体操)教室、(4) 広報誌(ききょう元気通信)の発行(毎月回覧)、(5) ウォーキング大会です。いずれも内容は24年度と同じですが、ウォーキングは例年健康まつりに合わせて実施してきましたが、平成25年度は6月1日に独立して実施します。5事業合わせた予算額は24万円です。

毎年住民の方から好評の市の集団がん検診を健康支援室の協力のもとに実施します。予算額は1万円です。予算総額は228万円となります。以上が健康推進部会の事業計画です」。

#### <住民交流部会>

廣岡住民交流部会長欠席のため、山中事務局長から、平成25年度の事業計画(案)について別添え資料に基づき概ね次のように説明があった

「住民交流部会もほぼ平成24年度の事業と大きな変更は有りません。

こちらの部会の事業の柱は「桔梗が丘夏まつり」と「ハッピーニューイヤーききょうフェスタ」の2つです。

まず、桔梗が丘夏まつりは8月24日（土）に実施予定です。実施内容は模擬店、フリーマーケット、パレード、アトラクション、盆踊り等を予定しています。模擬店利用券300円も例年通り配布します。予算額は175万円です。

「ハッピーニューイヤーききょうフェスタ」は、平成26年1月11日（土）。伝統行事になりつつある「どんど」を1月13日（月・祝）に実施します。内容は、ワークショップ、子ども向けイベント、お菓子屋台村、豚汁等の振る舞い。どんど行事と合わせた予算額は23万円です。協賛金85万円を除く予算総額は113万円です。

以上が住民交流部会の事業計画です」。

河合理事から「どんど」事業の開始時間について、次年度からは午前8時スタートにします」と発言があり、了承された。

辻森会長から、「どんど行事の応援について、協力いただく区、自治会に対して、計画段階から参画できるようにしていただきたい」と要請があった。

#### <教育文化部会>

竹原教育文化部会長から、平成25年度の事業計画（案）について別添え資料に基づき概ね次のように説明があった。

「平成25年度の事業計画として、第9回目となる桔” ずセミナーを引き続き実施します。内容は夏6講座、冬3講座です。講座の内容は資料記載の通りですが、未定となっていた冬の講座の残り1講座は科学に決まりました。予算額は30万円です。

第17回目となる「こころの思い発表会」と「ふるさと歴史ハイキング」を実施します。「こころの思い発表会」は秋の公民館展に合わせて行います。地域の歴史を学び、ふるさとを愛する心を育てる目的で始めましたふるさと歴史ハイキングは11月9日（土）に実施が決定しました。予算額はそれぞれ16万3千円と4万円です。

私の一冊文庫へ書籍購入補助として1万6千円を予算計上します。予算額の合計は51万9千円を計上いたします。以上が教育文化部会の事業計画です」。

議長は以上3部会の事業計画について、出席者の意見を求めた。

田合監事から、「体操会へ夏休み期間に子どもが参加の際、桔梗が丘南地区から桔梗が丘小学校へ来るのは危険が伴うと思うので、出来れば南地区で体操会を開いている団体に声をかけ、参加できるように出来ないか」と述べた。

南地区で体操会を開いている、「南さわやかクラブ」に事務局から声掛けをすることになった。参加賞の予算についても考慮することになった。

その他に意見は無く、採決した結果全員挙手し、3部会の事業計画(案)は提案どおり承認された。

#### <生活安全部会>

吉野生活安全部会長から、平成25年度の事業計画(案)について別添え資料に基づき概ね次のように説明があった。

「普通救命講習会を10月と来年3月に2回実施します。場所は名張消防庁舎で募集定員は1回20人です。募集地区は10月に4番町から8番町と桔梗が丘南、3月は1番町から3番町と桔梗が丘西という予定です。内容は止血法、異物除去法、心肺蘇生法、AED取扱法です。尚現在、桔梗が丘公民館に設置しているAEDは来年1月でリース契約が終了します。次に防犯パトロールも来年度も引き続き実施します。次年度は5人の隊員で毎月4回約1時間地域内をパトロールします。課題は隊員の増員確保です。命の笛の贈呈も引き続き実施します。

自主防災隊の防災訓練を各自治会・区で年1回は実施するよう働きかけます。その際着用する班識別のベストを購入したいと考えています。理由は、参加者がより分かり易い、又雰囲気も盛り上がると思います。

本部、警備、救護、炊き出班等、各20枚を制作してはどうかと考えています。皆さんのご意見をいただきたい」と述べた。

意見交換の結果、炊出班、情報班、救護班、本部、警護班とすることになった。

吉野部会長：「例年通り、桔梗が丘の危険箇所の解消・改善にも取り組みを促進します。予算は普通救命講習会4,200円、防犯パトロール60,800円、命の笛贈呈15,000円、防災訓練用ベスト100,000円で予算額合計180,000円です。以上が生活安全部会の事業計画です」。

#### <快適環境部会>

加納快適環境部会長から、平成25年度の事業計画(案)について別添え資料に基づき概ね次のように説明があった。

「当部会の事業計画は資料記載のとおり、第1項の地球温暖化対策事業(緑のカーテン事業)として、平成25年度もゴーヤ苗を1家庭2株配布します。合計で1200株です。地域内での認知度も挙がってきており、25年度が最後になるかもしれません。予算額は246,500円です。

第2項の地域環境保全・啓発事業としてのホテル観賞会を6月に、バードウォッチングを26年1月に実施します。どちらも多くの子どもた



ちの参加を希望しています。新しく、地域、近隣公園を巡るハイキングを企画します。実施時期は11月16日(土)で東山ふれあいの森、鳴滝公園、野鳥公園、10号公園等が候補地です。予算額は27,000円、

第3項の桔梗が丘クリーン大作戦は、6月2日(日)に実施されます。名張市クリーン大作戦に協賛して実施するものです。各自治会の清掃活動が、この事業に賛同し団体で参加いただけるよう呼び掛け、参加の地区には粗品を用意いたします。予算額は60,000円、

第4項は新しい事業活動として近隣公園(鳴滝公園、野鳥公園)の整備促進です。住民に親しまれる、使い易い公園を目指して整備をして行きたいと考えています。(機材購入費、遊歩道整備、雑草刈等)事業予算は120,000万円です。当部会の予算総額は453,500円となります。以上が快適環境部会の事業計画です」。

#### <地域福祉部会>

梅本地域福祉部会長から、平成25年度の事業計画(案)について別添え資料に基づき概ね次のように説明があった。

「地域福祉部会も従来とほぼ同じ事業内容を考えています。まず「陽だまり」の発行ですが、内容が健康推進部会のききょう元気通信や、広報委員会のききょう通信と重複しますので、高齢者の見守り訪問に携えることとし、地域への回覧は中止いたします。高齢者への年末友愛訪問は例年通り実施します。高齢者のつどいを平成25年度は5月26日(日)実施予定です。例年自治会長・区長さんのご協力をいただいています。参加者240人位の予定です。先日調査しましたところ地域の80歳以上の方は703人でした。昨年より少し減っています。生き生きサロンも桔梗が丘の14地区で例年通り実地します。桔梗が丘地域内6か所のグループホーム交流会、未就園児とその親のつどいのあかちゃん・ちびっこなかよし広場も例年通りです。この事業にビデオ撮影の協力を頂いている林さんを広報で一度取り上げて頂きたいと思っています。地域高齢者への配食サービスと見守り事業の「いこい」「友～友」の2団体との協働事業も進めていきます。

以上で予算額の合計は114万円となります。以上が地域福祉部会の事業計画です」。

議長は出席者からの意見を求めた。

辻森会長：快適環境部会の近隣の公園整備に関して名張市からの支援・助成は無いのですか。

加納部会長：要望書をまとめては出しているが、我々で出来る事と、そうでないものは常に要望して25年度で考えてもらうことにしている。

引き続き、出席者で協議会の今後の運営について次の様な意見交換があった。

野邊理事：3年前、新しくスタートした協議会の活動はこれまでの各事業部会の活動をまとめ挙げただけになっていないか。2番目に協議会の中で最大の組織、中心になる自治連合会の役割・活動はどうなっているのかが見えてこない気がする。桔梗が丘地域でも少子高齢化が進んでいるし、一方、桔高の統合問題等課題が山積している。そんな中で、今まさに、更に大きな指針・視点で活動を進めていかねばならないのではないかと考えている。そうした指針のもとで各委員会、部会の具体的な活動を進めるような体制を再構築すべきだと考える。これは今日、明日といったことではないかもしれないが、避けて通ることは出来ない問題と思う。

辻森会長：当協議会には、各部会の事業範囲が施行規則に定められているが、更に具体的な事業内容の検討を進めることが不可欠と思っている。

野邊：これだけ組織が大きくなり、発足から3年経過した今検討すべき時期にきていると思う。地域ビジョンほっとまち構想もスピード感をもって推進することが必要と思う。例えば、ふれあい茶房でも地域住民のニーズに叶った物になっているか、もっとスピード感を持って取り組まねばならないと感じている。桔梗が丘から転出する方が増える一方、若年層は戻らないという状況で、更に高齢化が進んでいく懸念がある。

吉野理事：高齢者が気軽に集える場所を各地区に設置できるようなことにも取り組む必要が有る。

辻森会長：高齢者に優しいまちづくりを目指して、各種の団体とも連携し、活動を進めていく方針を堅持していきたい。

阪本理事：当委員会の本来の役目である今後の進むべき方向について、大いに議論し、検討を進めていかねばならないと考えています。当然、地域ビジョンの推進も自治連合会と連携し、多くのスタッフを集めて推進出来る体制作りをして行きたいと感じています。そうすることによって、地域ビジョン推進プロジェクトを活力あるものとしていきたい。

田合監事：桔梗が丘には様々な団体があるが、事業の融合という観点からみるといまひとつの感じがある。類似の活動について協働することによって、更に強固な活動につながっていくと思っています。例えば消防団と生活安全部会、地域福祉部会が地域の高齢者の見守り事業で携えるとか。一方、部会員の高齢化についても考えなければならないと思う。

吉野理事：地域内には防災の設備もいくつかあるが、いざというときに備えての訓練も必要と思う。

辻森会長：只今出された意見を集約し、企画運営委員会を中心に検討し、何らかの方向性を見出して行きたい。

	<p>大垣副会長：自治連合会でも、その地区だけで解決できない問題等を協議会全体で捉えることの方が良いし、次年度くらいから、協働事業、活動成果について公表する方策を考えていくのも良いと思っています。</p> <p>野邊理事：余り大上段に構えると窮屈になるが、我々自身が考え、変革していくことに努力するべきだと思う。そうすることによって事業への参加者も増えることにもなる。</p> <p>その他、出席者からは特に意見は無く、採決に移り全員挙手し、平成25年度自治連合協議会の事業計画（案）は承認された。</p>
<p>4. 平成25年度公民館事業計画（案）について</p>	<p>中村公民館長から、平成25年度公民館事業計画(案)について、別添え資料に基づき概ね次のように説明があった。</p> <p>「平成25年度の新しい学級・教室は「そば打ち教室」「スマートフォン教室」は単発講座として開催します。韓国文化を学ぶハングル語講座、本年度まで男性のみ対象になっていた「料理教室」は、模様替えをして実施します。この2講座は連続開設です。ロビー歌声広場、絵手紙教室は24年度途中から始めましたが好評なため、新年度から連続講座として開設します。</p> <p>これらを合わせると全部で13講座ということになります。</p> <p>昨年まで長年にわたり夏期大学講座としてきた「講座」は、次年度から桔梗が丘公開連続講座として年6回奇数月に開催することにしました。テーマを「今から考える終活”もしもの時の準備はできていますか”」とします。第1回目は寺田病院理事長の寺田紀彦医師にお願いをし「真摯に死と向き合い、生を見つめる」と題して講演会を開催します。2回目以降の予定は資料に記載をしておりますのでご参照ください。参加料は全回無料です。その他の行事は例年通り、ロビーコンサート、プチコンサート、映画鑑賞会を記載の通り実施する予定です。地域の皆さんには回覧等でお知らせをし、一人でも多くの方にご参加いただきたいと思っていますので、よろしく願いをいたします。</p> <p>議長は出席者からの意見を求めた。</p> <p>出席者からは特に意見は無く、採決に移り全員挙手し、平成25年度公民館の事業計画（案）は承認された。</p>
<p>5. 平成25年度定時総会開催日決定について</p>	<p>辻森会長から、平成25年度定時総会の開催を5月18日土曜日午後1時30分から桔梗が丘公民館講堂で開催をしたい旨を述べ、諮ったところ、全員意義なく承認された。</p> <p>以上で決議事項の審議は終了した。</p>
<p>報告事項</p> <p>1. 平成24年度協議会会計及び公民館会計累計報告につい</p>	<p>松村事務局次長から、平成24年度協議会会計及び公民館会計累計報告について、別添えの2月末の会計累計表に基づき報告があり、了承さ</p>



て

れた。

協議会会計	収入の部合計	20,629円
	支出の部合計	1,007,815円
		(詳細は資料記載)
公民館会計	収入の部合計	336,885円
	支出の部合計	788,215円

## 2. 委員会・部会活動報告

### <総務委員会>

大垣副会長から、「今年度の事業は全て無事終了しました。2月23日のまちづくりに関する岩崎先生の講演会も30人近い参加者があり、好評のうちに終了をしました。一年間有難うございました。尚次年度から委員が1人増員となり7人で運営します」と述べた。

### <広報委員会>

野邊広報委員長から「ホームページの更新をに力をいれて行っています。今年度の更新回数は42回、アクセス数も4000以上になってきています。皆さんも是非アクセスしてください」と述べた。

### <教育文化部会>

議長は、報告書が提出されているので、これを報告に変える旨を述べた。

### <生活安全部会>

吉野生活安全部会長から「3月17日(日)名張消防庁舎2階で普通救命講習会を実施しました。参加者は12人で、当初の予定通り無事終了しました。防犯パトロールも予定通り4回実施しました。いずれの回も異常はありませんでした」と述べた。

### <快適環境部会>

加納快適環境部会長から「鳴滝公園に看板を設置しました。内容は木の名称案内、自然を大切にと言う啓蒙看板です。機会があればご覧下さい」と述べた。

### <地域福祉部会>

梅本地域福祉部会長から「民生委員が2名欠員になっています。桔梗が丘西が現在そのままなので、自治会長にお願いをしています。今秋に全員の改選を控えています。皆さんもご協力をお願いします」と述べた。

以上で議事は終了した。

次回理事会は、平成25年4月27日(土)


時 間 午前9時30分より

場 所 桔梗が丘公民館 202号室


議 長

辻森保蔵 

議事録署名人

中村満 

議事録署名人

松村勲 

	副会長	副会長	総務委員長	書 記
	